

「ポストこしひかり」の開発

(生産振興課、食料産業振興課)

1 目的

おいしく（消費者の嗜好に合った食味）、つくりやすく（高温に耐え、いもち病にかからない）、環境にやさしい（有機質肥料で安定的に生長し、田んぼの生き物に負担がない）、全国に誇れる福井産の次世代水稻品種「ポストこしひかり」を開発する。

2 事業内容

(1) 「ポストこしひかり」の開発

○福井産の水稻新品種の育成

- ・平成23年度に農業試験場内にポストコシヒカリ開発部を設置し、20万種の候補から「ポストこしひかり」の選抜を開始
- ・DNA分析などの新しい技術も取り入れ、平成26年度までに10種に候補を選抜
- ・平成27年度は、現地実証栽培の結果と米の専門家による食味評価を踏まえ4種に選抜

○生き物にやさしい「ポストこしひかり」の栽培技術を確立

- ・ホタルなどの生き物にやさしい栽培管理技術を開発
- ・水田での農薬の使用量を削減するため、除草ロボットや乗用除草機を活用した除草体系を確立
- ・化学肥料の使用量や施用回数を削減するため有機質の基肥一括肥料を開発

○平成30年度からの本格生産に向けた現地実証栽培を行い、栽培指針を作成

- ・平成27年度から現地実証栽培圃を県内5か所に設置
(福井、坂井、奥越、丹南、若狭)
- ・次年度以降の栽培に必要な種子増殖圃を設置

(2) 「ポストこしひかり」のブランド化

- ・平成29年度に品種登録出願を控えた「ポストこしひかり」の高価格販売に向けたブランド化戦略を策定
- ・主要卸や都内米穀店等の専門家から販売戦略やPR手法の意見を聴取